

大阪市・福岡市・札幌市在住の非正規労働者で子どものいない女性600人に実態・意識を調査
コロナ禍における「非正規で働くシングル女性の実態調査」結果発表
約半数が年収200万円未満でも、6割以上は自ら望んで非正規を選択
「非正規雇用のまま働きたい」(57.7%)が、「正社員で働きたい」(28.0%)の2倍以上
「社会保障リテラシー」の獲得が課題

大阪経済大学（学長：山本俊一郎／所在：大阪市東淀川区）では、「非正規シングル女性」に対する支援政策のあり方を研究する本学経済学部・森詩恵教授（社会政策）が研究代表となって、2020年11月に実施した「非正規で働くシングル女性の実態調査」の結果をまとめましたので発表します。

近年、増加が著しい非正規労働者に対して、政府は、社会保険への適用拡大や無期転換への推進を実施し、雇用の安定と待遇の改善に取り組んでいます。しかし現状は依然として、非正規雇用の所得水準は正規雇用に比べて低く、そのため男女とも結婚をためらい、シングル化が加速しています。

昨年からのコロナ禍でこの状況が更に加速するなか、非正規シングル女性が「いかに働き、生活しているのか」「自らの仕事と生活についてどのように考えているのか」について実態と意識を明らかにするため、大阪市立男女共同参画センター中央館研究室との連携により、非正規雇用で働く子どものいない女性（未婚・既婚）を対象に大阪市・福岡市・札幌市で調査を行いました。

【調査結果にみる「非正規シングル女性」の傾向】

- 1)「個人年収300万円未満」が86.4%を占め、さらに厳しい「個人年収200万円未満」は 48.7%。
しかし全体の81.3%が自身の収入で生計を立てており、56.1%が「自身が家賃を全額負担した賃貸住宅」で生活。
- 2) 学校卒業後の初職から「非正規雇用」が57.3%。(非正規既婚女性の初職は「正社員」70.7%)
- 3) 62.6%が「自ら望んで非正規雇用を選択」。
正社員として厳しい労働環境を受け入れて働くより、非正規の方が都合が良いと考える傾向に。
- 4) 雇用期間の定めがある非正規シングル女性のうち約半数の55.2%が、現状から「変更を希望していない」。
今後も「非正規雇用のまま働きたい」(57.7%)が、「正社員として働きたい」(28.0%)の2倍以上。
- 5) 65.5%が「社会保障の知識を得たい」と回答したが、「どれに加入しているか分からない」が1割弱。3人に1人が「社会保障関連窓口を利用したことがない」。どの社会保障においても「詳しく知っている」人は、5～18%程度。
- 6) 現在・将来の「住まい」「生活費」「仕事」「健康」「家族の介護」「結婚・恋愛」への不安を尋ねたところ、最多は「現在不安を感じているものはない」44.8%、次いで「将来に不安を感じているものはない」37.1%。
また約半数が「将来の介護の可能性はない」と回答。

【経済学部・森詩恵教授の分析】 これらの結果から、「社会保障リテラシー」獲得の課題が判明



非正規シングル女性の多くは、主たる生計者として働いていても低収入で、将来への十分な備えが難しい状況にあります。しかし、雇用の継続が保障されず連続性を持った働き方・暮らし方ができない社会は、彼女たちを将来設計が立てられない状況へ追い込んでいます。また、非正規シングル女性の生活は、将来的に崩れやすい状況にあるだけでなく、親の介護を担う可能性も高く、親亡き後の住まいの確保や経済的困窮も懸念されます。

本来は正社員が良いけれど、厳しい労働環境を受け入れて働くぐらいなら非正規の方が良いと考えている人も多く、それぞれが安心して働ける労働環境を整備し、当事者の社会保障リテラシーを確保・向上させることが重要な課題と考えます。

< 本件に関するお問い合わせ先 >

大阪経済大学 経営企画部広報課 高濱・白神 TEL: 06 - 6328 - 2431 Mail: kouhou@osaka-ue.ac.jp
<https://www.osaka-ue.ac.jp>

大阪経済大学 広報デスク (プランニング・ホール内) 福嶋、山村、古川 TEL: 06 - 4391 - 7156

調査概要

- 調査名 2020年度「非正規で働くシングル女性の実態調査」
- 調査方法 インターネットによるウェブアンケート調査
- 調査期間 2020年11月6日（金）～ 2020年11月11日（水）
- 調査・分析 JSPS科研費JP20K02311（「非正規シングル女性の自立支援における『社会保障リテラシー』獲得支援に関する研究」）の助成によって実施。
 研究代表者：森詩恵（大阪経済大学 経済学部教授）
 研究分担者：服部良子（クレオ大阪中央 研究室長／大阪経済法科大学 経営学部教授）
 研究協力者：岸上真巳（一般財団法人大阪市男女共同参画のまち創生協会 企画調整課リーダー）

- 調査対象 大阪市、福岡市、札幌市内在住で、30代～50代の非正規労働者で子どもがいない女性

※回収サンプル数 600サンプル 【年代×未既婚×居住地内訳】

	全体			既婚			未婚 (人)		
	大阪市	福岡市	札幌市	大阪市	福岡市	札幌市	大阪市	福岡市	札幌市
30代	100	50	50	50	20	25	50	30	25
40代	100	50	50	50	25	25	50	25	25
50代	100	50	50	47	23	25	53	27	25
全体	300	150	150	147	68	75	153	82	75

※スクリーニング調査で婚姻状況を聴取し、「戸籍婚」を【既婚】、「事実婚」「未婚」「離別」「死別」を【未婚】として扱った。

■ 調査属性

【年代】 (%)

	合計	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～59歳
全体	100	17.7	15.7	16.5	16.8	21.8	11.5

【配偶者】 (%)

	合計	(戸籍婚) いる	(事実婚) いる	(未婚) いない	離別した	死別した
全体	100	48.3	1.3	44.7	5.0	0.7

【就業形態】 (%)

	合計	契約社員	嘱託社員	パートタイム労働者	臨時労働者	派遣労働者 (登録型)	派遣労働者 (常時雇用型)
全体	100	20.5	1.5	57.0	0.3	10.8	9.8

■ 調査結果について

- ・ 集計結果はすべて、小数点第2位を四捨五入しており、比率の合計が100.0%にならないことがある。また、複数の回答比率を足した場合、四捨五入の関係で若干増減が発生する場合がある。
- ・ 回答比率 (%) は、その質問の回答者数を基数 (n=Number of case) として算出した。

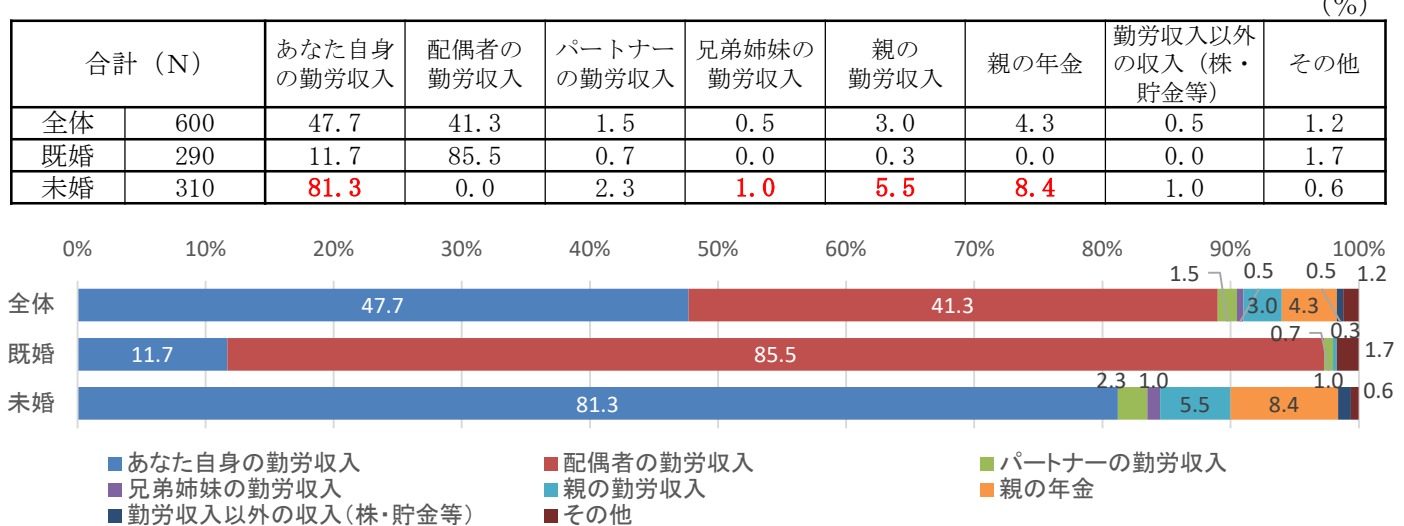
調査結果

■非正規シングル女性の約半数が個人年収200万円未満だが、全体の8割以上が自身の収入で生計を立てている

非正規シングル女性の81.3%が自身の収入で生計を立てています。しかし非正規シングル女性の個人年収は、「300万円未満」が86.4%を占め、「個人収入200万円未満」が48.7%、「世帯収入200万円未満」も35.8%という結果となりました。さらに「個人収入100万円未満」が13.2%で1割を超えており、「家族(親・兄弟姉妹)の勤労収入・親の年金」を生計の主な収入にしている人も14.9%でした。

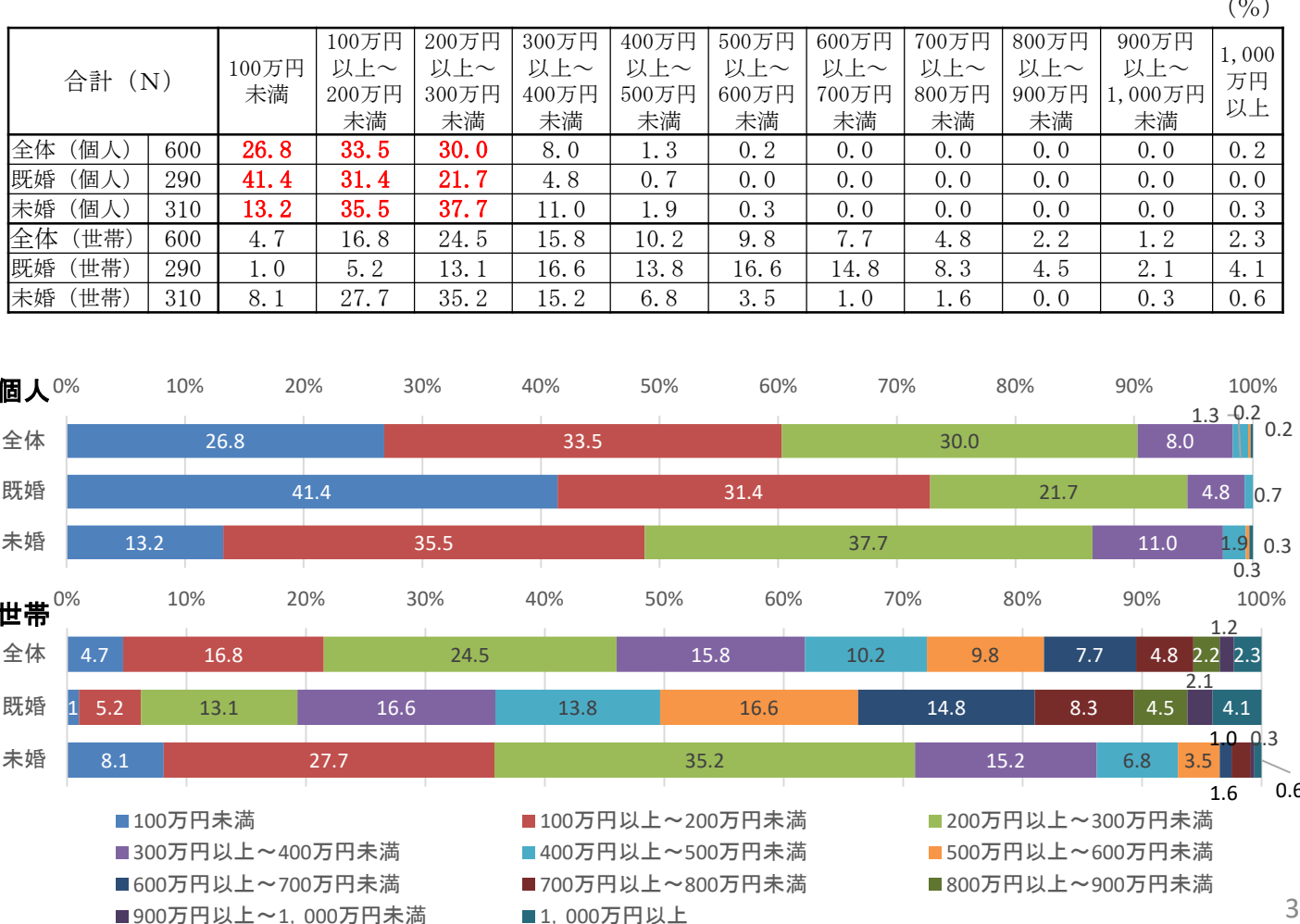
1) あなたの生計は主にどのような収入によって成り立っていますか。

※該当するものがいくつかある場合は、最も収入の多いものを選んでください。



2) あなた自身と、世帯全体の2019年(2019年1月～12月)の年収(税込)は、

それぞれ、およそいくらですか。複数の勤め先で働く人は、その合計をお答えください。

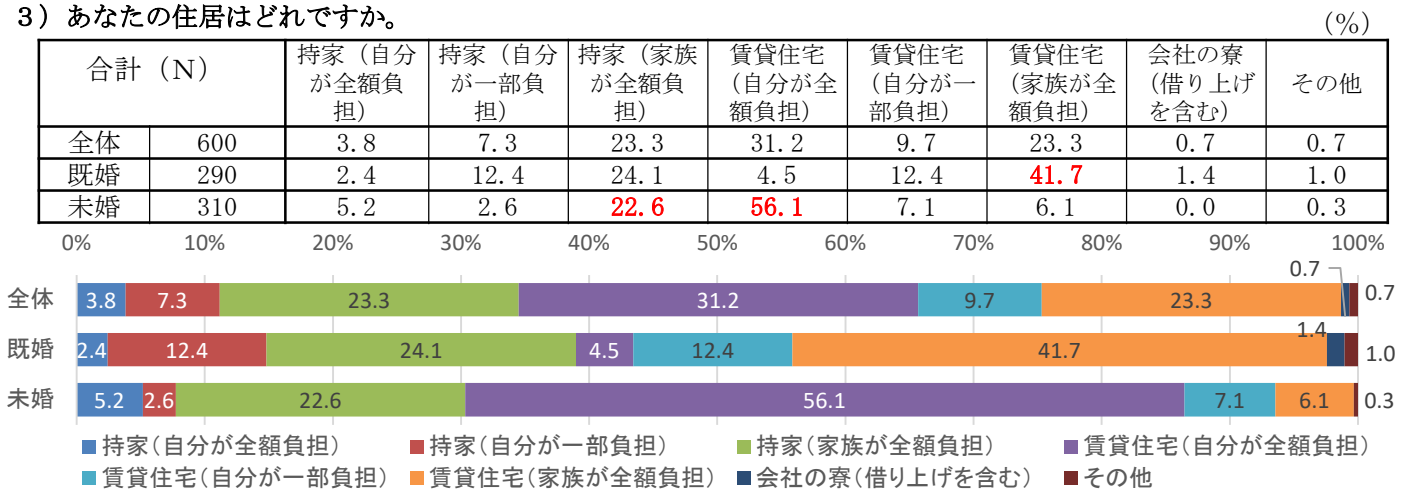


調査結果

■非正規シングル女性は半数以上が、自身が家賃を全額負担した賃貸住宅で生活。

非正規シングル女性の56.1%が「自分が全額負担する賃貸住宅」に住んでいます。非正規労働者は、コロナ禍で収入に影響が出ると、住居問題は大きな負担になると考えられます。一方で「家族が全額負担する持ち家」は22.6%でした。持ち家でも、親の死後の管理、老朽化によるリフォームなど様々な問題が発生する可能性があり、決して将来にわたって安心というわけではありません。

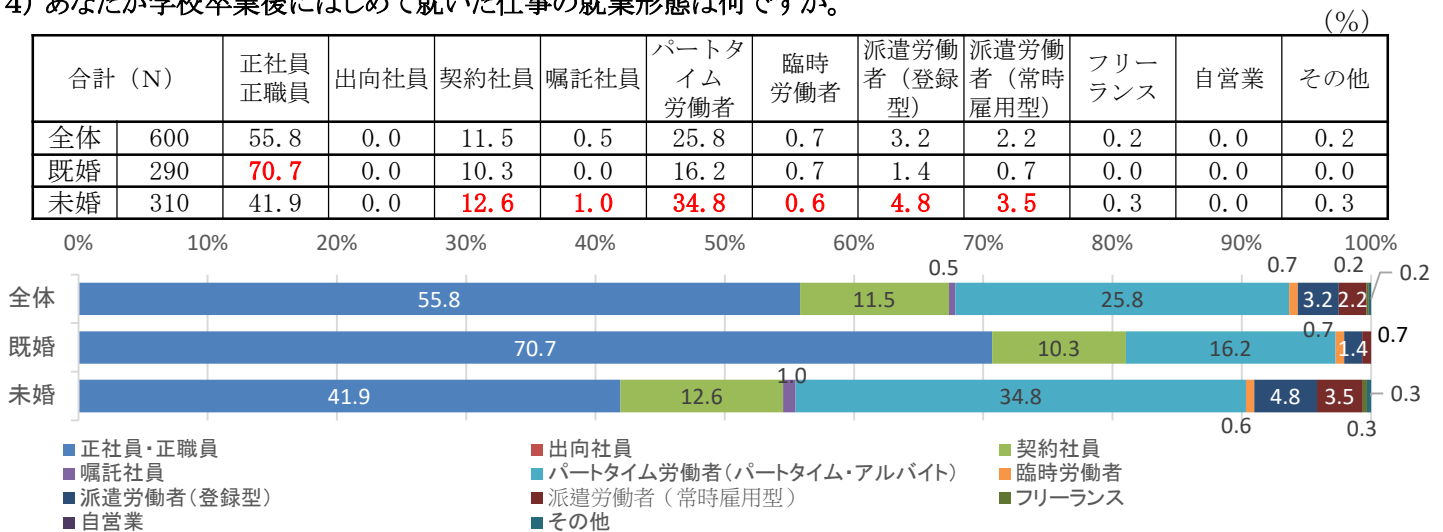
3) あなたの住居はどれですか。



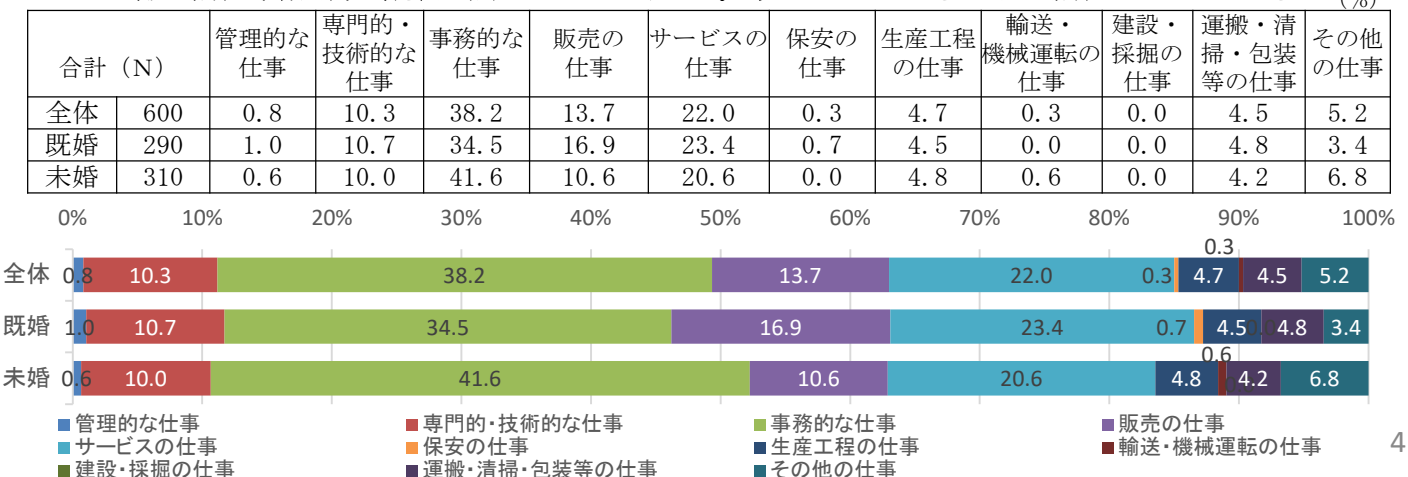
■非正規シングル女性57.3%が学校卒業後の初職が「非正規雇用」。一方、非正規既婚女性は初職「正社員」が70.7%

非正規シングル女性に、学校を出て最初に就いた仕事について尋ねたところ、パートタイムや契約社員などの「非正規雇用」(57.3%)が、「正規雇用」(41.9%)を上回る結果となりました。一方、非正規既婚女性の初職は、「正規雇用」(70.7%)、「非正規雇用」(29.3%)という結果となりました。また、職種は事務的な仕事が最も多くなっています。

4) あなたが学校卒業後にはじめて就いた仕事の就業形態は何ですか。



5) あなたの現在の勤め先での職種は何ですか。※複数の職種を兼務している場合は、報酬のもっとも多い職種を、これにより難しい場合は就業時間の最も長い職種を1つ選んでください。※完全にあてはまるものが無い場合は近いと思われるもの

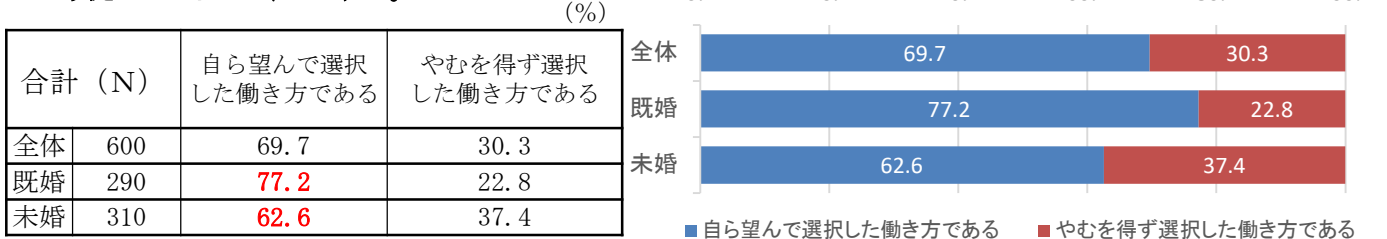


調査結果

■非正規シングル女性の約6割が、自ら望んで非正規雇用という働き方を選択。

自身が非正規雇用という働き方をどう捉えているかを聞いたところ、「自ら望んで選択した」と回答した人が、非正規シングル女性では62.6%、既婚女性では77.2%という結果となり、「やむを得ず選択した」を大きく上回る結果になりました。

6)あなたは、あなたが現在「非正規雇用(正社員以外の働き方)」という働き方をしていることをどう捉えていらっしゃいますか。

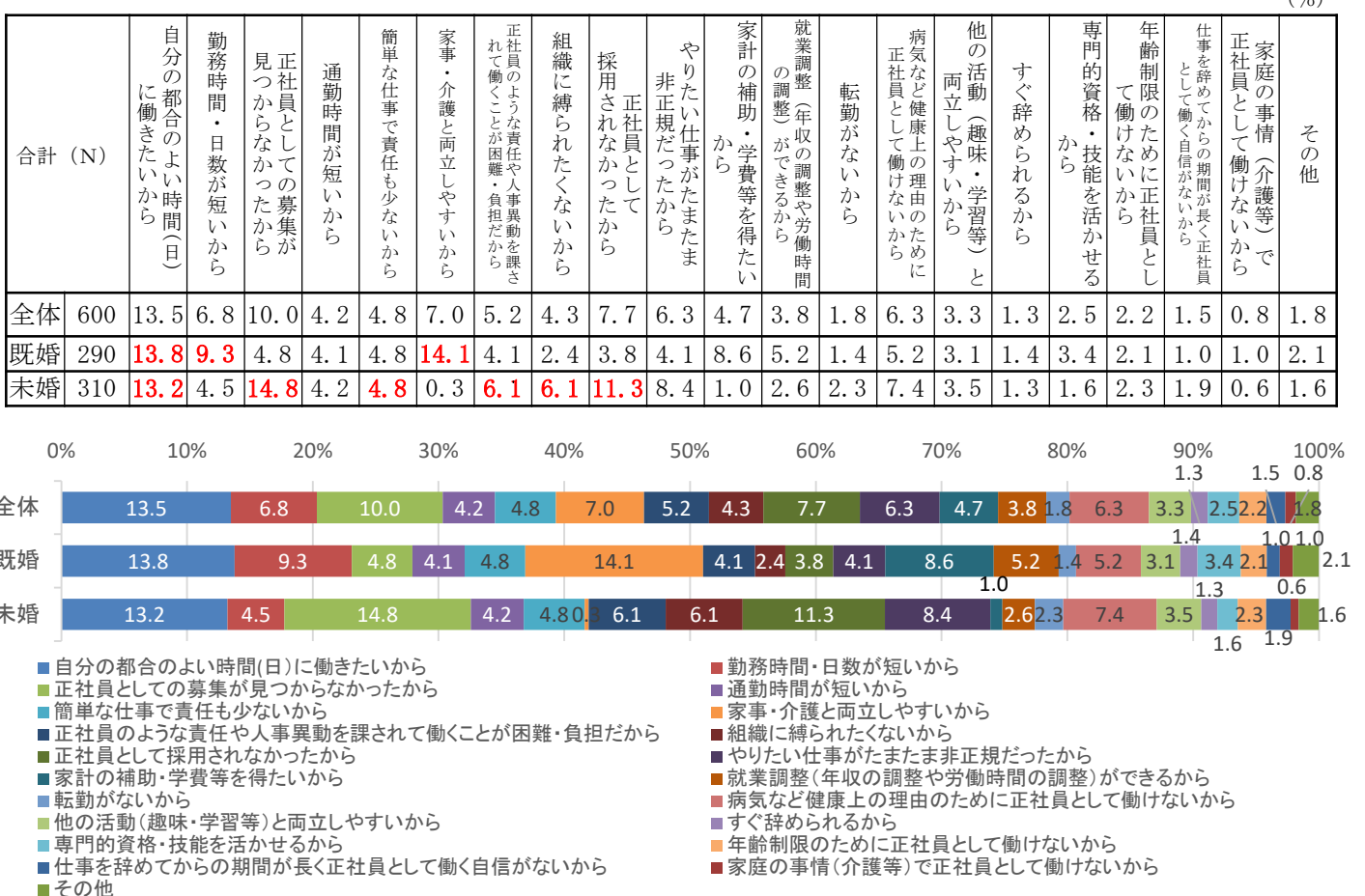


■ステレオタイプなイメージから、正社員として厳しい労働環境を受け入れて働くよりも非正規の方が都合が良いと考え、正社員として働くことを敬遠してしまっている様子も垣間見える。

非正規シングル女性が現在の就業形態(非正規雇用)を選んだ理由として最も多かったのは、①「正社員としての募集が見つからなかった」(14.8%)、②「自分に都合の良い時間(日)に働きたいから」(13.2%)、③「正社員として採用されなかったから」(11.3%)という結果になりました。しかし「正社員のような責任や人事異動を課されて働くことが困難・負担だから」(6.1%)、「組織に縛られたくないから」(6.1%)、「簡単な仕事で責任も少ないから」(4.8%)など、正社員に対するステレオタイプなイメージで非正規を選んでいる人もいる様子が見えます。

一方で既婚女性の場合は、①「家事・介護と両立しやすいから」(14.1%)、②「自分の都合のよい時間(日)に働きたいから」(13.8%)、③「勤務時間・日数が短いから」(9.3%)という家庭との両立のための理由が上位を占めました。

7)あなたが現在の就業形態を選んだ理由は何ですか。最も当てはまるものを1つ選んでください。



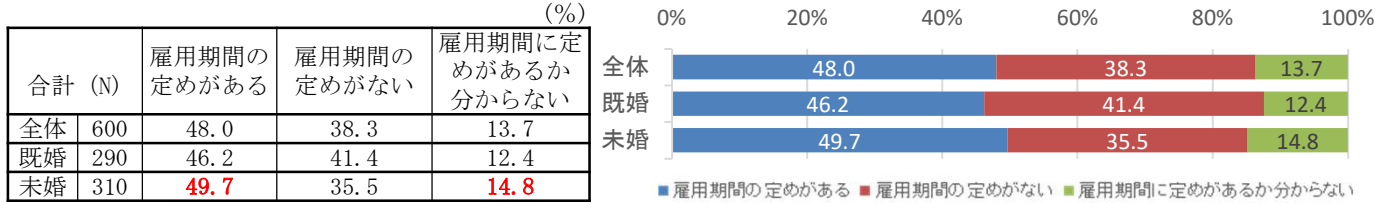
調査結果

■「雇用期間の定めがある」非正規シングル女性のうち、約半数以上が現状の「変更を希望していない」。

非正規シングル女性は「雇用期間の定めがある」が49.7%、「分からない」が14.8%と回答。また「雇用期間の定めがある」と回答したうち、「変更を希望する」と答えたのは44.8%で半数以下となりました。

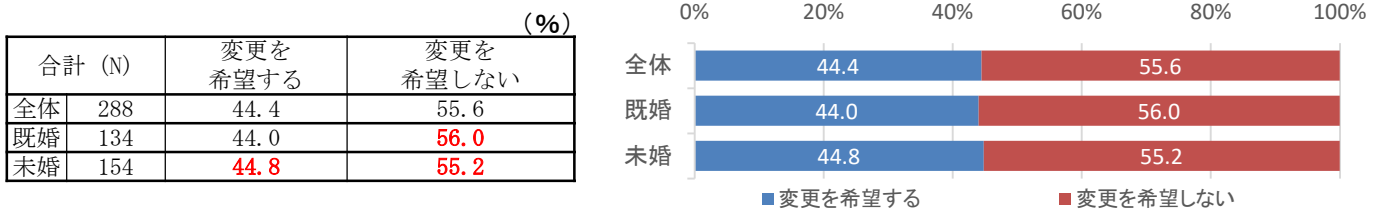
8) あなたの現在の会社での労働契約は、雇用の期間の定めがありますか。

※口頭で雇用期間を伝えられた場合も含まれます。※派遣労働者の方は、派遣元との雇用契約の期間についてお答えください。



9) あなたは、現在の仕事について、雇用期間を定めない雇用契約への変更を希望しますか。

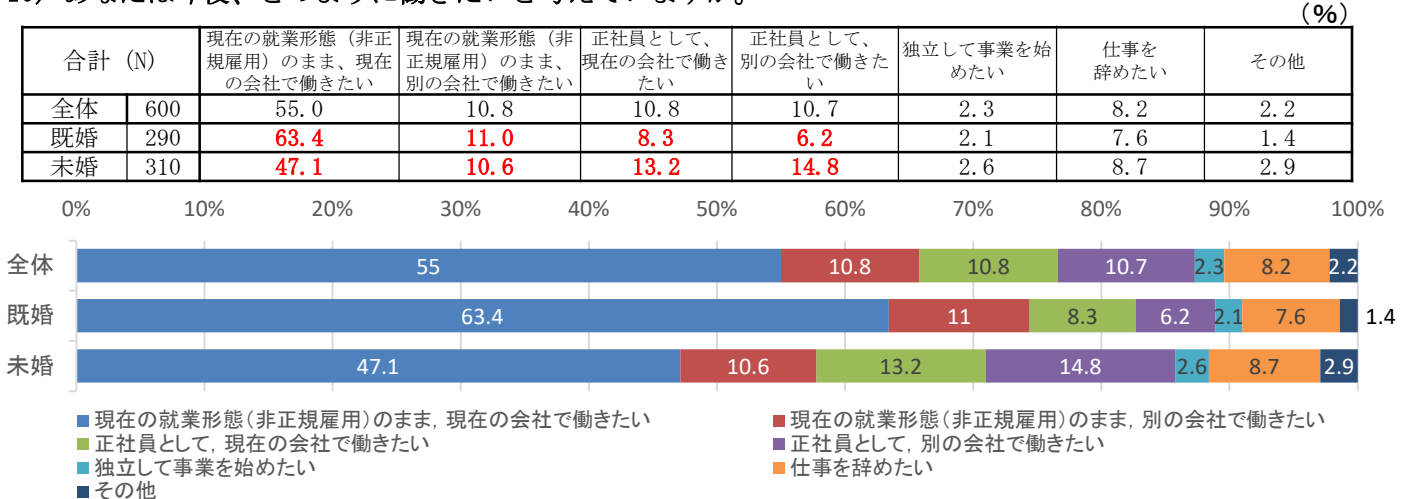
※雇用期間の定めがある仕事を複数しており、そのうちのひとつでも変更を希望する場合は「1. 変更を希望する」とお答えください。 ※「雇用期間の定めがある」と回答した人のみ



■今後も「非正規雇用のまま働きたい」が57.7%。「正社員として働きたい」の2倍以上。

現在、非正規シングル女性のうち、「非正規雇用のまま働きたい」（現在の会社+別の会社）と答えた人が57.7%となり、「正社員として働きたい」（現在の会社+別の会社）と答えた人の28.0%の2倍以上になりました。

10) あなたは今後、どのように働きたいと考えていますか。

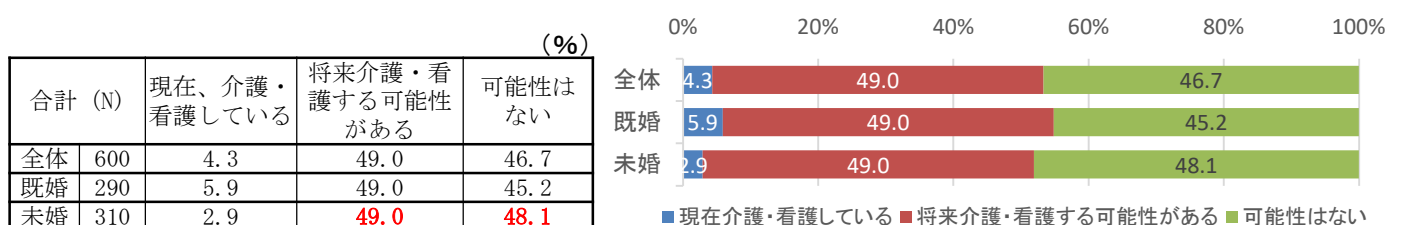


■約半数は「将来の介護の可能性はない」と回答。

非正規シングル女性のうち、「将来、家族の介護・看護を担う可能性がある」（49.0%）、「可能性はない」（48.1%）という回答となりました。この結果は既婚・未婚とも変わらない状況です。

11) あなたは現在、家族等の介護・看護をしていますか。

また現在していない方も、将来、家族等の介護・看護を担う可能性があると思いますか。

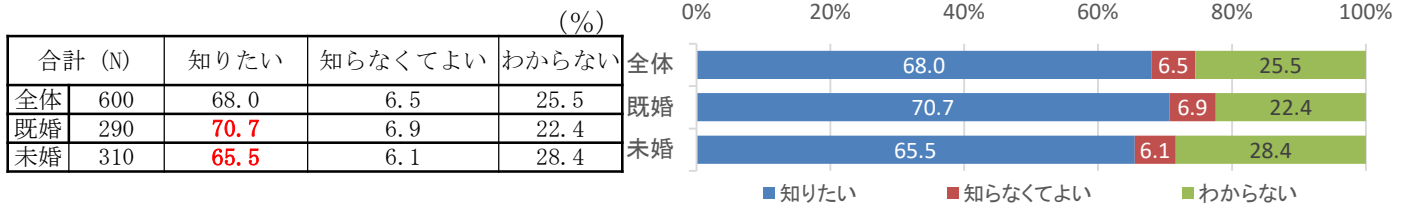


調査結果

■非正規シングル女性の65.5%が「社会保障の知識を得たい」ものの、「どれに加入しているか分からない」が1割弱。3人に1人は、「社会保障関連窓口を利用したことがない」

非正規シングル女性で「社会保障に関する知識を知りたい」と答えた人は65.5%で、既婚女性の70.7%より低く、危機感の薄さが目立つ結果となりました。また社会保障関連の公的機関の窓口を「利用したことがない」人は34.2%となりました。さらに1割弱が、公的年金について「どれに加入しているか分からない」と回答しました。

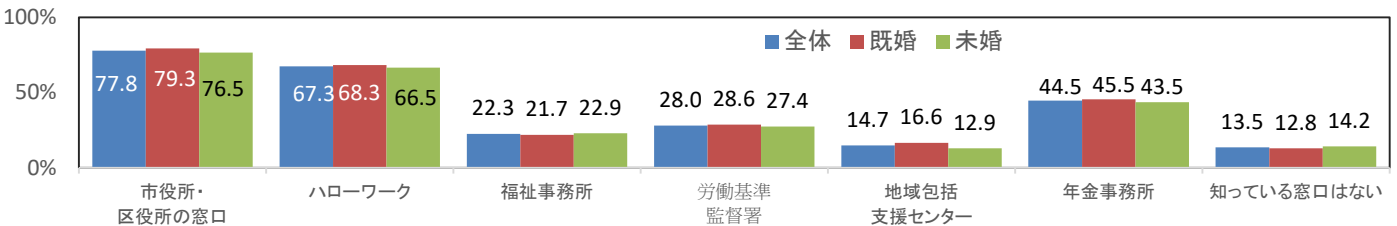
12) あなたは、社会保障（年金、医療保険、雇用保険、労災保険など）に関する知識を得たいと思いますか。



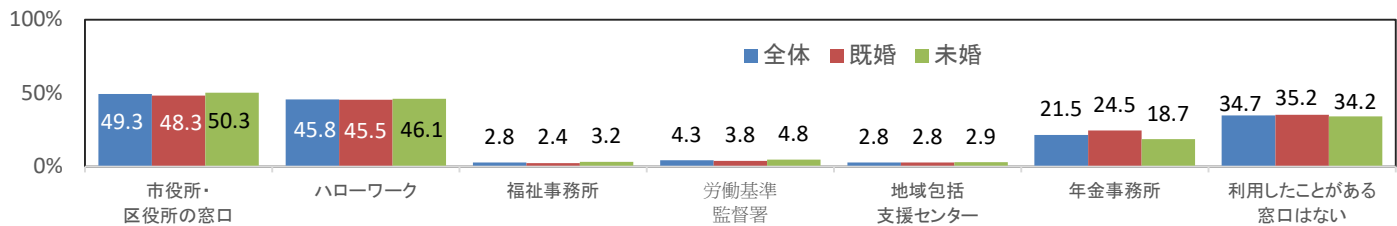
13) 知っている社会保障関係の窓口と、利用したことがある窓口をすべてお答えください。（複数回答可）

合計 (N)		(%)						
		市役所・区役所の窓口	ハローワーク	福祉事務所	労働基準監督署	地域包括支援センター	年金事務所	知っている／利用したことがある窓口はない
知っている全体	600	77.8	67.3	22.3	28.0	14.7	44.5	13.5
既婚	290	79.3	68.3	21.7	28.6	16.6	45.5	12.8
未婚	310	76.5	66.5	22.9	27.4	12.9	43.5	14.2
利用したことがある全体	600	49.3	45.8	2.8	4.3	2.8	21.5	34.7
既婚	290	48.3	45.5	2.4	3.8	2.8	24.5	35.2
未婚	310	50.3	46.1	3.2	4.8	2.9	18.7	34.2

【知っている窓口】

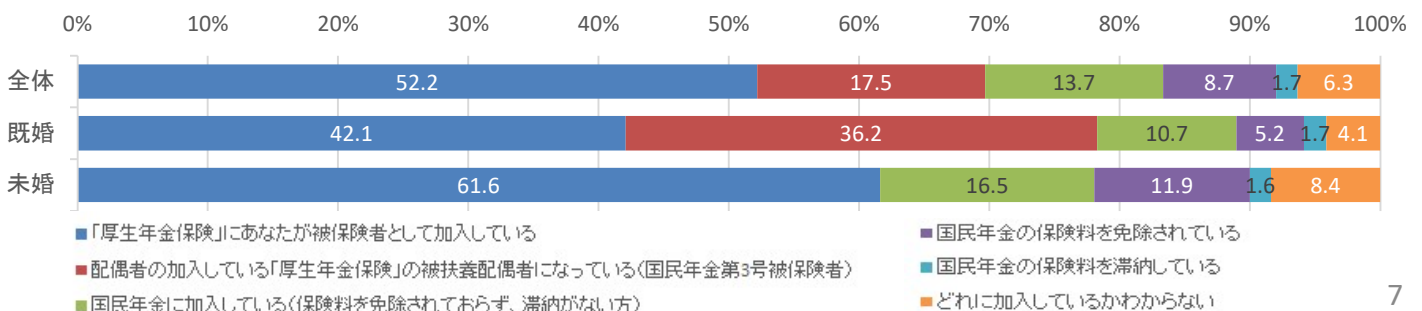


【利用したことがある窓口】



14) あなたの公的年金の加入状況についてお伺いします。

合計 (N)		(%)					
		「厚生年金保険」にあなたが被保険者として加入している	配偶者の加入している「厚生年金保険」の被扶養配偶者になっている(国民年金第3号被保険者)	国民年金に加入している(保険料を免除されおらず、滞納がない方)	国民年金の保険料を免除されている	国民年金の保険料を滞納している	どれに加入しているかわからない
全体	600	52.2	17.5	13.7	8.7	1.7	6.3
既婚	290	42.1	36.2	10.7	5.2	1.7	4.1
未婚	310	61.6	0.0	16.5	11.9	1.6	8.4



調査結果

■非正規シングル女性の社会保障への認知・関心度の低さが目立つ結果に。

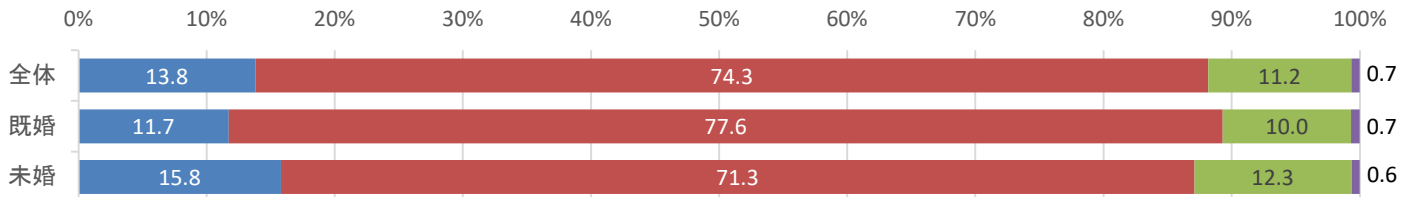
非正規シングル女性で「社会保障に関する知識を知りたい」と答えた人は65.5%でしたが、公的保障の認知度について尋ねると、「詳しく知っている」は、どの社会保障においても5～18%程度と伸び悩み、「名前とだいたいの内容を知っている」が多くを占めました。なかでも「介護保険」は40.7%、「労災保険」は37.0%、「生活保護」では28.1%の人が「知らない」（「名前は聞いたことがあるが内容は知らない」+「名前を聞いたことがない」）と答え、認知・関心の低さがうかがえます。

15) 公的保証の認知度 次の項目について知っていますか。

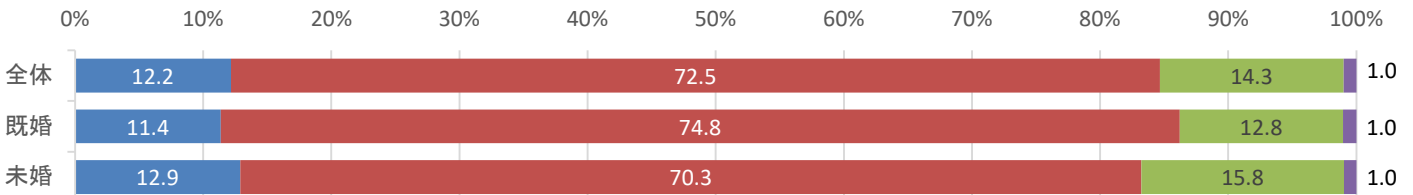
(%)

合計 (N)		詳しく知っている	名前とだいたいの内容は知っている	名前は聞いたことがあるが、内容は知らない	名前を聞いたことがない	
国民年金	全体	600	13.8	74.3	11.2	0.7
	既婚	290	11.7	77.6	10.0	0.7
	未婚	310	15.8	71.3	12.3	0.6
厚生年金保険	全体	600	12.2	72.5	14.3	1.0
	既婚	290	11.4	74.8	12.8	1.0
	未婚	310	12.9	70.3	15.8	1.0
介護保険	全体	600	5.2	55.3	37.3	2.2
	既婚	290	5.5	56.2	36.6	1.7
	未婚	310	4.8	54.5	38.1	2.6
労災保険	全体	600	6.0	60.2	31.3	2.5
	既婚	290	5.9	63.8	29.0	1.4
	未婚	310	6.1	56.8	33.5	3.5

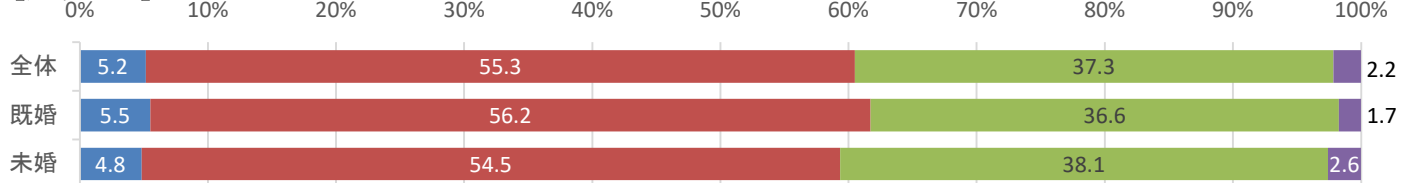
【国民年金】



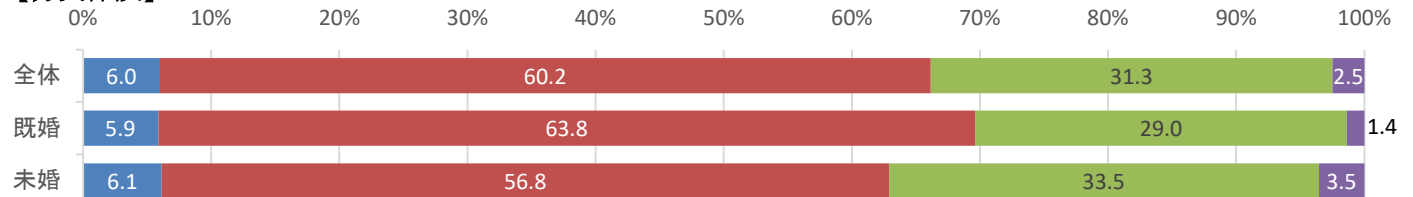
【厚生年金保険】



【介護保険】



【労災保険】



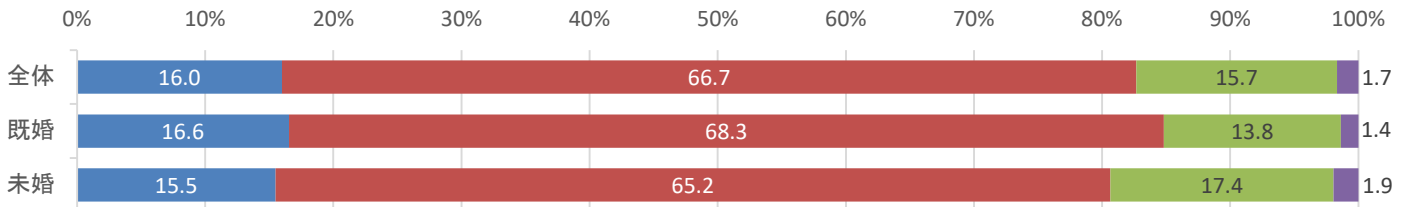
■ 詳しく知っている ■ 名前と、だいたいの内容は知っている ■ 名前は聞いたことがあるが、内容は知らない ■ 名前を聞いたことがない

調査結果

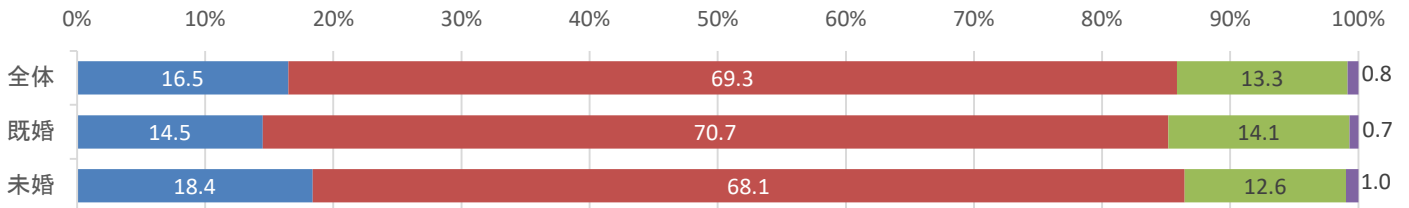
(%)

合計 (N)		詳しく知っている	名前とだいたいの内容は知っている	名前は聞いたことがあるが、内容は知らない	名前を聞いたことがない	
雇用保険	全体	600	16.0	66.7	15.7	1.7
	既婚	290	16.6	68.3	13.8	1.4
	未婚	310	15.5	65.2	17.4	1.9
国民健康保険	全体	600	16.5	69.3	13.3	0.8
	既婚	290	14.5	70.7	14.1	0.7
	未婚	310	18.4	68.1	12.6	1.0
健康保険	全体	600	12.7	63.3	21.0	3.0
	既婚	290	14.5	62.8	21.0	1.7
	未婚	310	11.0	63.9	21.0	4.2
生活保護	全体	600	11.2	61.3	26.2	1.3
	既婚	290	9.7	63.4	25.9	1.0
	未婚	310	12.6	59.4	26.5	1.6

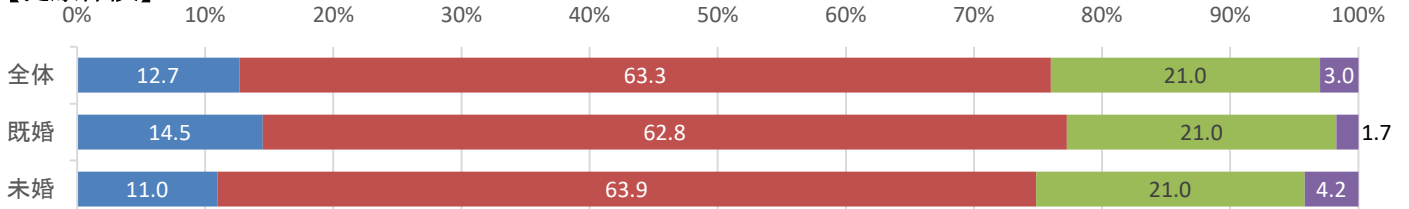
【雇用保険】



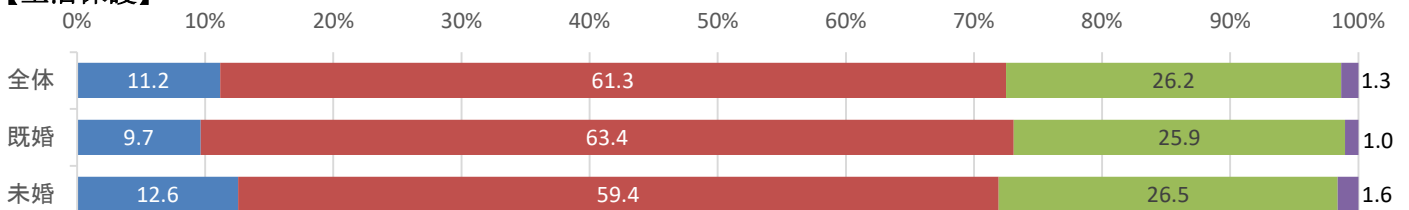
【国民健康保険】



【健康保険】



【生活保護】



■ 詳しく知っている ■ 名前と、だいたいの内容は知っている ■ 名前は聞いたことがあるが、内容は知らない ■ 名前を聞いたことがない

調査結果

■現在・将来の「住まい」「生活費」「仕事」「健康」「家族の介護」「結婚・恋愛」への不安を尋ねたところ、最も多かったのは「現在、不安を感じているものはない」44.8%、「将来に不安を感じているものはない」37.1%。

非正規シングル女性が、現在不安を感じていることを聞いたところ、「不安を感じているものはない」(44.8%)が最も多く、次いで「仕事」(34.2%)、「生活費」(29.4%)という結果になりました。

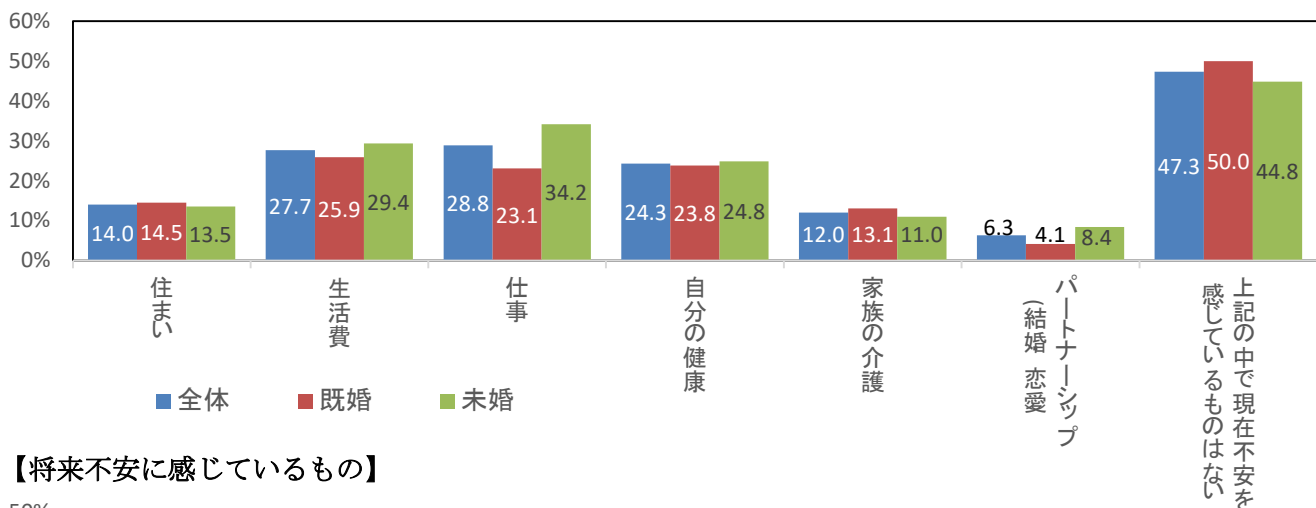
さらに将来の不安についても「不安を感じているものはない」(37.1%)が最も多くなりました。

また現在と将来についてを比較すると、「仕事」(34.2%)については同率であったものの、「家族の介護」(11.0%→21.0%)は10ポイント上昇、「住まい」(13.5%→18.7%)は5.2ポイント上昇、「生活費」(29.4%→34.2%)は4.8ポイント上昇となりました。

16) あなたは、次の項目で現在・将来に不安を感じているものはありますか。それぞれで不安を感じているものをすべてをお答えください。(複数回答可)

合計 (N)		住まい	生活費	仕事	自分の健康	家族の介護	パートナーシップ (結婚・恋愛)	上記の中で現在／将来に不安を感じているものはない	
現在	全体	600	14.0	27.7	28.8	24.3	12.0	6.3	47.3
	既婚	290	14.5	25.9	23.1	23.8	13.1	4.1	50.0
	未婚	310	13.5	29.4	34.2	24.8	11.0	8.4	44.8
将来	全体	600	17.3	31.5	26.8	26.3	20.8	6.2	40.5
	既婚	290	15.9	28.6	19.0	22.4	20.7	3.8	44.1
	未婚	310	18.7	34.2	34.2	30.0	21.0	8.4	37.1

【現在不安を感じているもの】



【将来不安を感じているもの】

